

3月～4月上旬の農作業

種まき	定植	栽培のポイント
<p>【果菜類】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トマト ・ナス ・ピーマン <p>【葉菜類】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハウレンソウ ・コマツナ ・シュンギク など 	<p>【葉菜類】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レタス ・ハクサイ ・チンゲンサイ ・ブロッコリー など <p>収穫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハウレンソウ ・コマツナ ・長芋 など 	<p>【育苗期の温度管理】</p> <p>3月は徐々に日差しが強くなり、1日の温度変化が大きくなる時期です。晴天の日に、ハウス内が日中 30℃に達することもめずらしくありません。ハウス内で栽培や育苗を行っている方は、温度管理に注意しましょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・果菜類の育苗については、夜温が 13℃を維持できるようトンネルなどで保温します。 ・晴天日は9時を目途に、ハウスサイドを開けて、気温が上がり過ぎないようにしましょう。また、ムシにより植物が軟弱になりやすくなるためトンネル資材の開閉についても配慮します。 ・夕方は16時を目途にハウスを閉めて、保温しましょう。

土づくりの効果（シリーズ第3回）

植物は土の中に根を張り、養水分を吸収して生長します。根が張りやすいフカフカな土がしっかりとした植物を育てます。

水はけがよい（透水性）

バーミキュライト、木炭、堆肥などに効果があります。水はけが悪いと、いつまでも水分を含んでいる状態となり、根が呼吸できず“根ぐされ”を起こしてしまうので水はけがよい状態にしておく必要があります。

通気性がよい

バーミキュライト、稲わら、堆肥などに効果があります。根は呼吸をしているため、通気性が悪い状態だと育ちにくくなるため通気性がよい状態にしておく必要があります。

保水性がよい

泥炭、パーライト、堆肥などに効果があります。砂質土壌のように保水性が悪いと、植物の生長に必要な水分が根から吸収できなくなり生長が妨げられるため保水性がよい状態にしておく必要があります。

保肥力がよい

泥炭、腐植酸質資材、堆肥などに効果があります。砂質土壌のように保肥力が弱いと、与えた肥料成分が流れてしまい、植物の生長が妨げられるため保肥力がよい状態にしておく必要があります。

微生物が多く含まれている

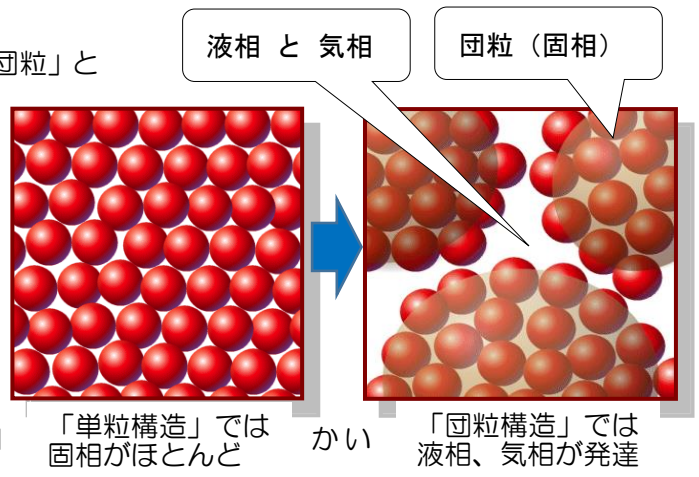
活きている土は微生物が多いので、有機質資材を良く分解して、通気性、透水性、保水性のバランスのとれた土をつくりだします。また、根の周りに微生物が定着することで、物理的に病原菌などの根圏への侵入を防いでくれます。

〔 有機物の施用と団粒形成について 〕

細かい土が塊になって、ダンゴ状となったものを「団粒」と言います。団粒(固相)が作られると、すき間に“気相”ができて通気性が確保されるだけでなく、水が入りやすくなって“液相”ができます。

「固相：液相：気相 = 2：1：1」の比率が、バランスのとれた良い土とされています。この固相部の団粒形成を図るためには、長い年月をかけて、堆肥な

どの有機物を投入することが重要です。なぜなら、細土をダンゴ状にするには“接着剤”が必要で、有機物が微生物によって分解される際に出てくる腐植酸や微生物の活動により排出される粘質物などが重要な接着剤の働きをするからです。



〔 実験してみました！ バーミキュライト 〕

挿し木用や種まき用の培土として広く利用されている「バーミキュライト」の透水性の効果を検証するため、簡単な実験をしました。



バーミキュライト

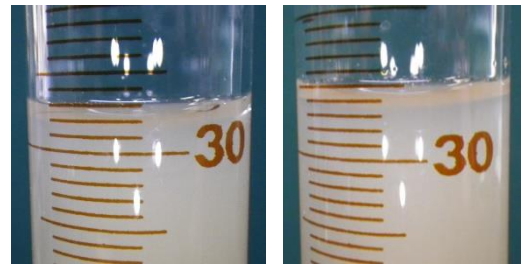


左：水はけの悪い土
右：バーミキュライトの混合土



実験の様子

- ① 透水性の悪い自然状態の壤土を、育苗用ポリポット(9cm)に 250g 入れます。⇒ (A)
- ② 透水性の悪い自然状態の壤土に、バーミキュライトを達観で 2 割程度ビニール袋に入れてよく混ぜ、そこから 250g 採取して育苗用ポリポット(9cm)に入れます。⇒ (B)
- ③ 「(A)」、「(B)」それぞれに 100ml の水を加えて4分後にポット下から排出されてくる水の量を測定しました。
- ④ 「(A)」からは 31ml、「(B)」からは 33ml の水が排出されました。
- ⑤ バーミキュライト混合土の方が、普通の土と比べて 2ml 排水性が良いことがわかりました。



(A) → (31ml) (B) → (33ml)



荻原



深宮

バーミキュライトを混合した育苗培土を、あさつゆで販売しています。販売資料については、裏面に掲載しているので参考にしてくださいね！

あさつゆ連絡先

電話番号：0268-41-1062

FAX：0268-41-1063

技術事項作成協力

上田農業改良普及センター（木曽）

電話番号：0268-25-7156（直通） FAX：0268-23-2161